

「栃木県のがん 2020(令和2年)」 (栃木県がん実態調査報告)について

全国がん登録 2020(令和2)年症例 罹患数・率
・令和6(2024)年3月 報告書公表

- 栃木県版報告書の作成
「栃木県のがん 2020(令和2年)」

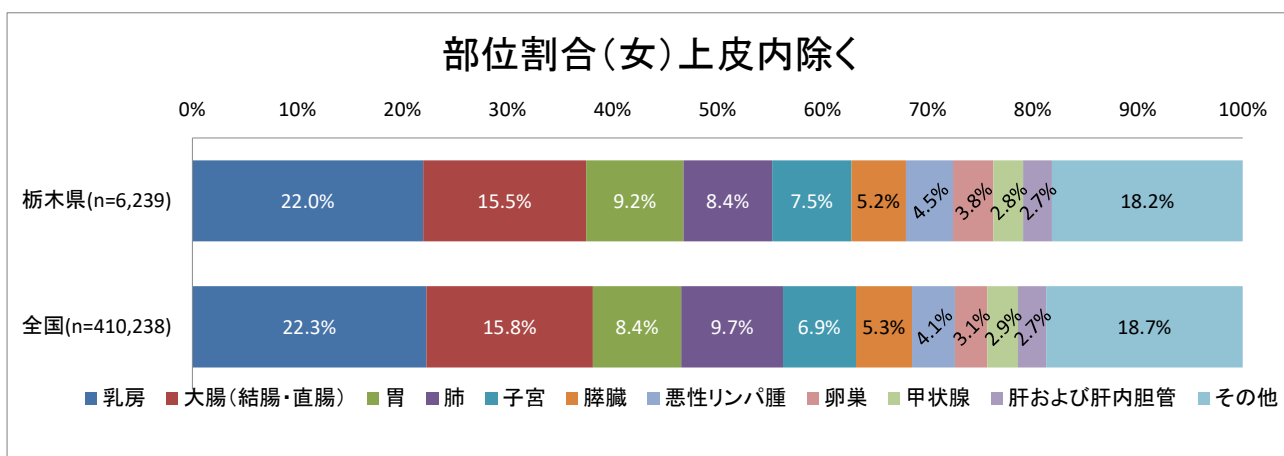
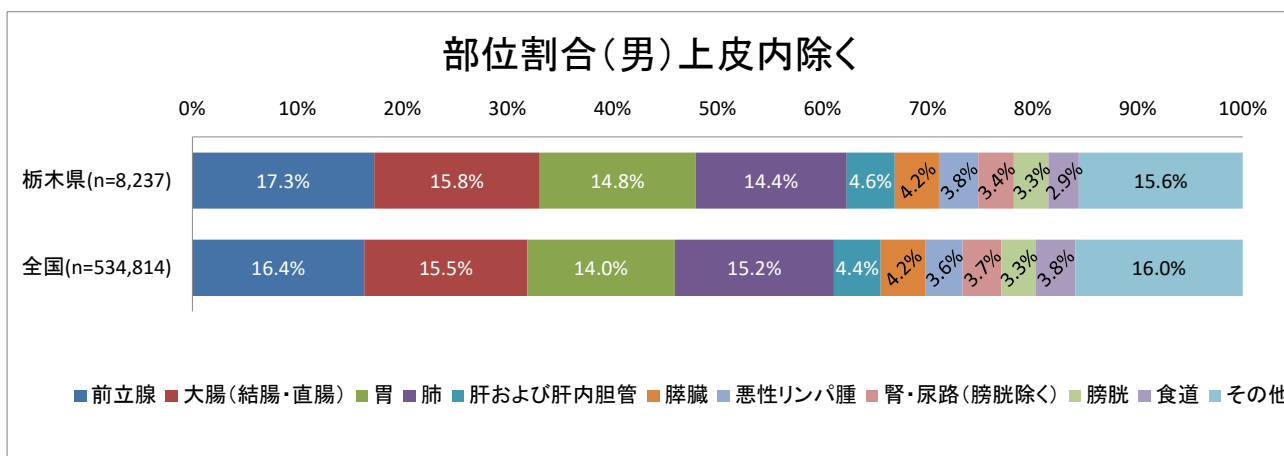
1. 罹患の概要

(1) 罹患数及び罹患率

上皮内がんを除く全部位の罹患数(C00-C96)は14,476件(男性8,237件、女性6,239件)であった。罹患率人口10万対では748.8(男性853.6、女性644.4)、年齢調整罹患率は361.1(男性401.9、女性335.1)であった。

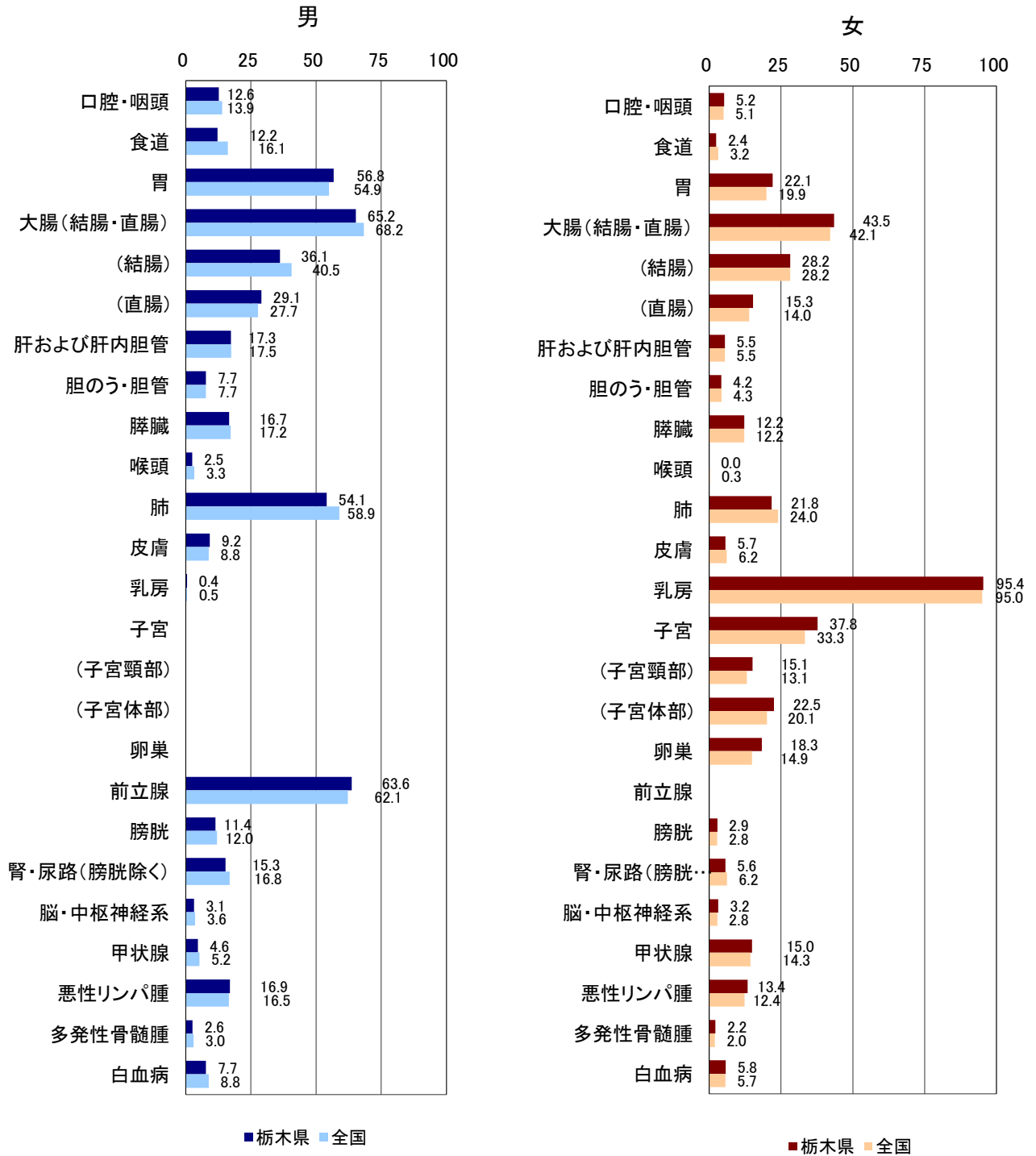
罹患数を部位別に多い順にみると、男性では前立腺(1,426件、17.3%)、大腸(1,299件、15.8%)、胃(1,221件、14.8%)、肺(1,186件、14.4%)、肝臓(375件、4.6%)であった。女性では、乳房(1,372件、22.0%)、大腸(968件、15.5%)、胃(577件、9.2%)、肺(527件、8.4%)、子宮(471件、7.5%)であった。

全国と比較して、それぞれの部位の占める割合は大きく変わらなかった。全国では男性は、前立腺、大腸、肺、胃、肝臓の順、女性は乳房、大腸、肺、胃、子宮の順であった。



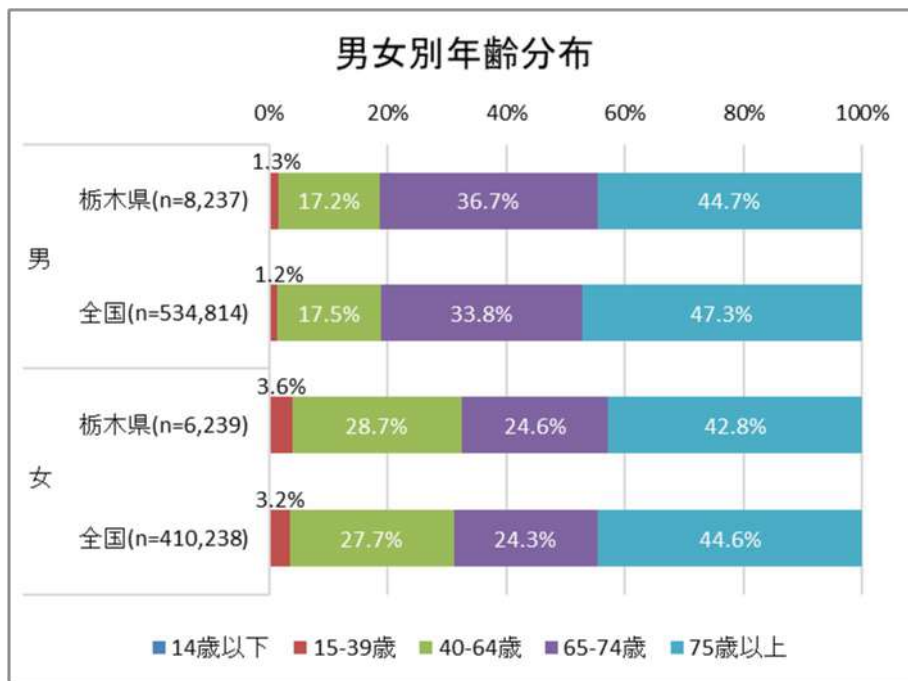
罹患率(人口10万対)は748.8(男性853.6、女性644.4)で、全国の罹患率749.2(男性871.7、女性633.1)と比較してやや低かった。

部位別年齢調整罹患率



(2) 年齢別罹患

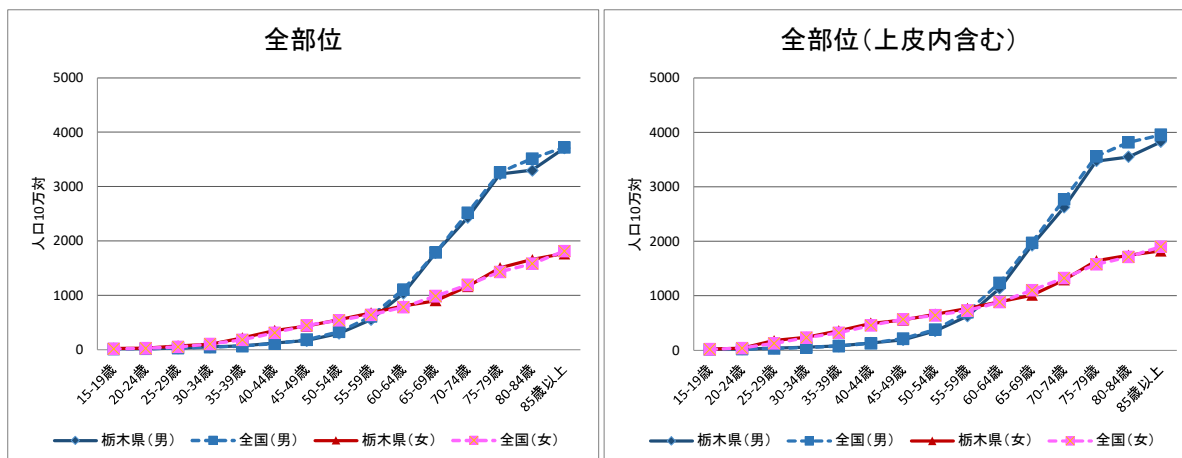
年齢別では、2020年に新たにがんと診断された75歳未満の割合は男性55.3、女性57.2%であった。全国においては男性52.7%、女性55.4%であった。男女とも栃木県の方が75歳未満の占める割合が高かった。



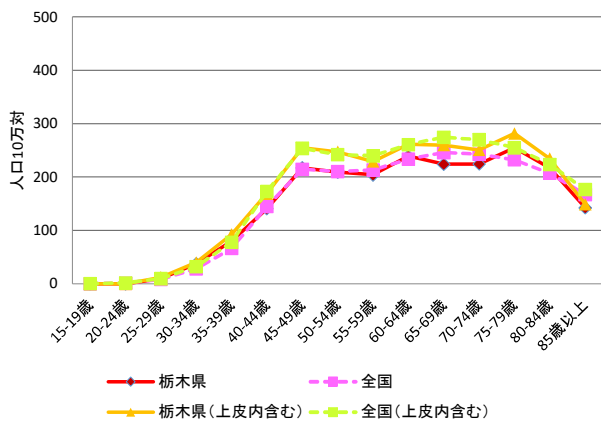
年齢階級別罹患率は、全部位で15～50歳代で女性が高く、60歳以上では男性が高くなった。男女とも年齢階級が高くなるにつれて罹患率は上昇した。その傾向は全国と同様であった。

多くの部位は年齢が高くなるほど罹りやすい傾向があるが、女性の乳がん、子宮頸がんはより若い年齢でも罹患率が高かった。

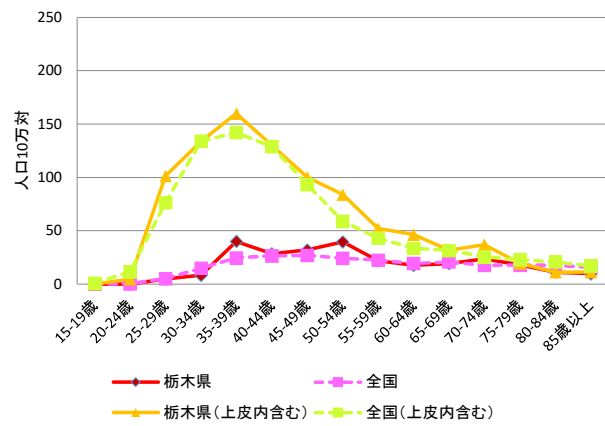
部位別年齢階級罹患率



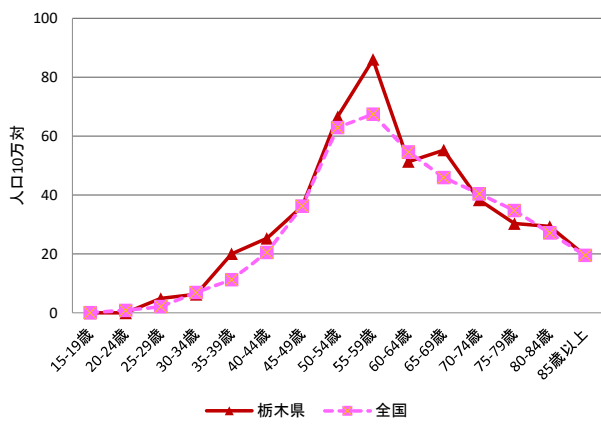
乳房(女性)



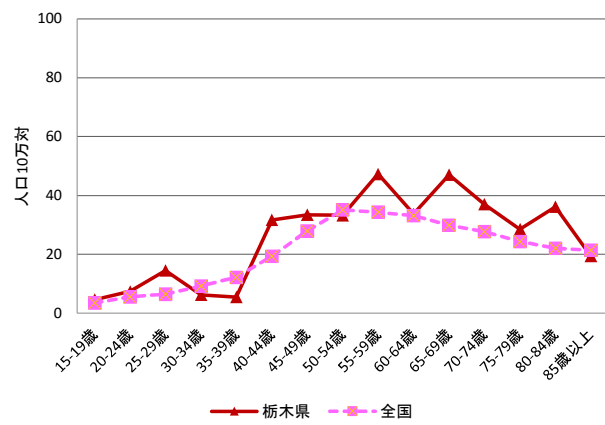
子宮頸部



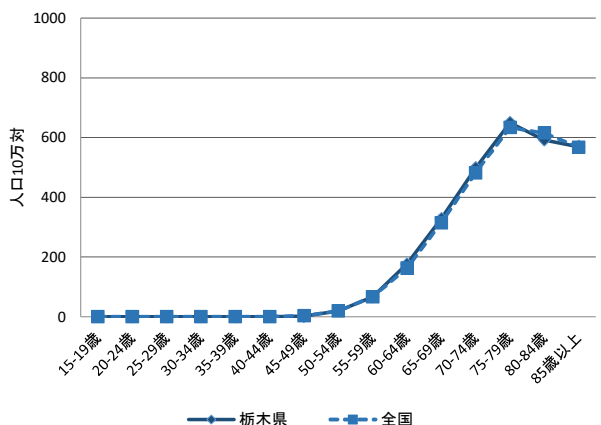
子宮体部



卵巣

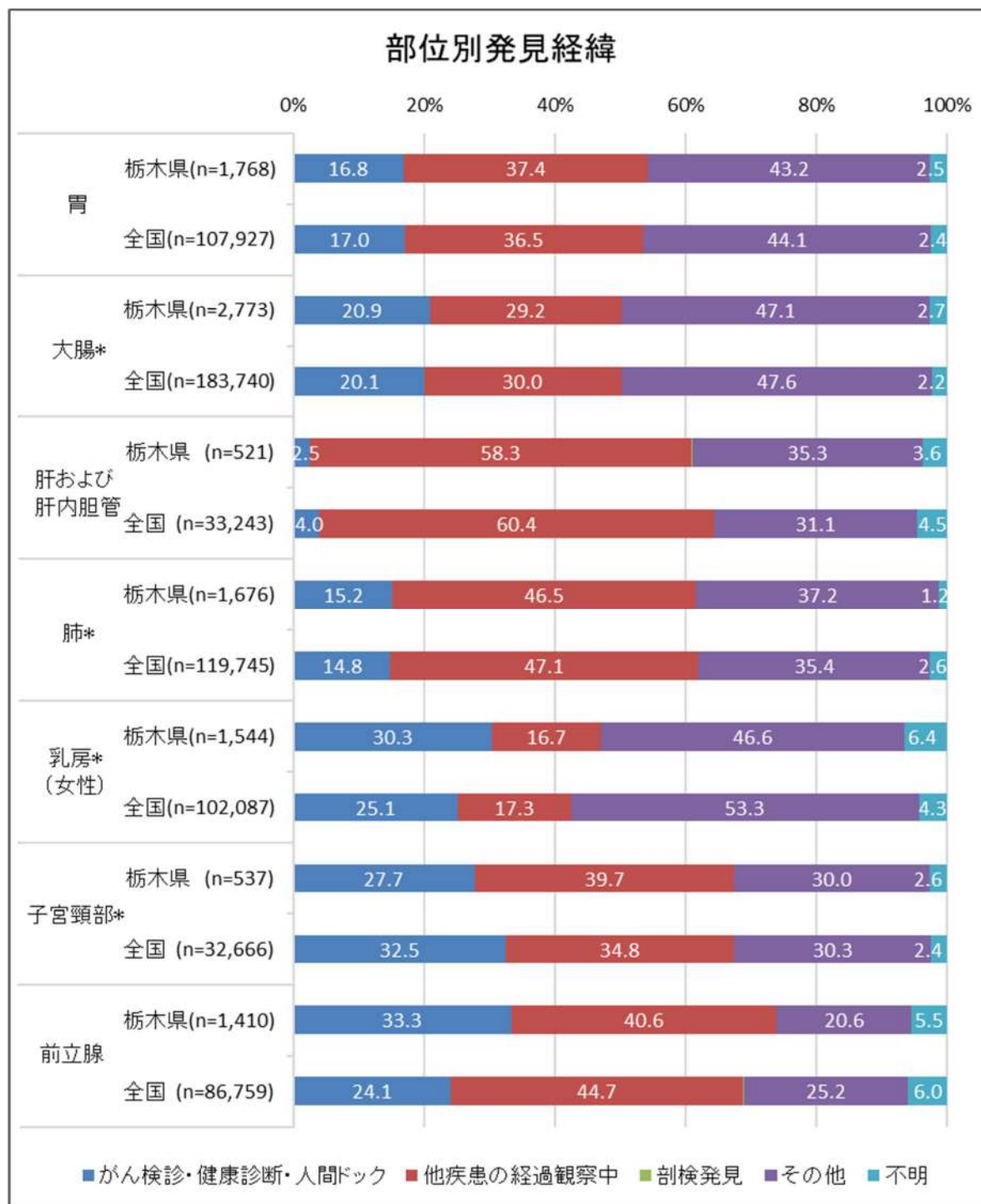


前立腺



(3) 発見経緯

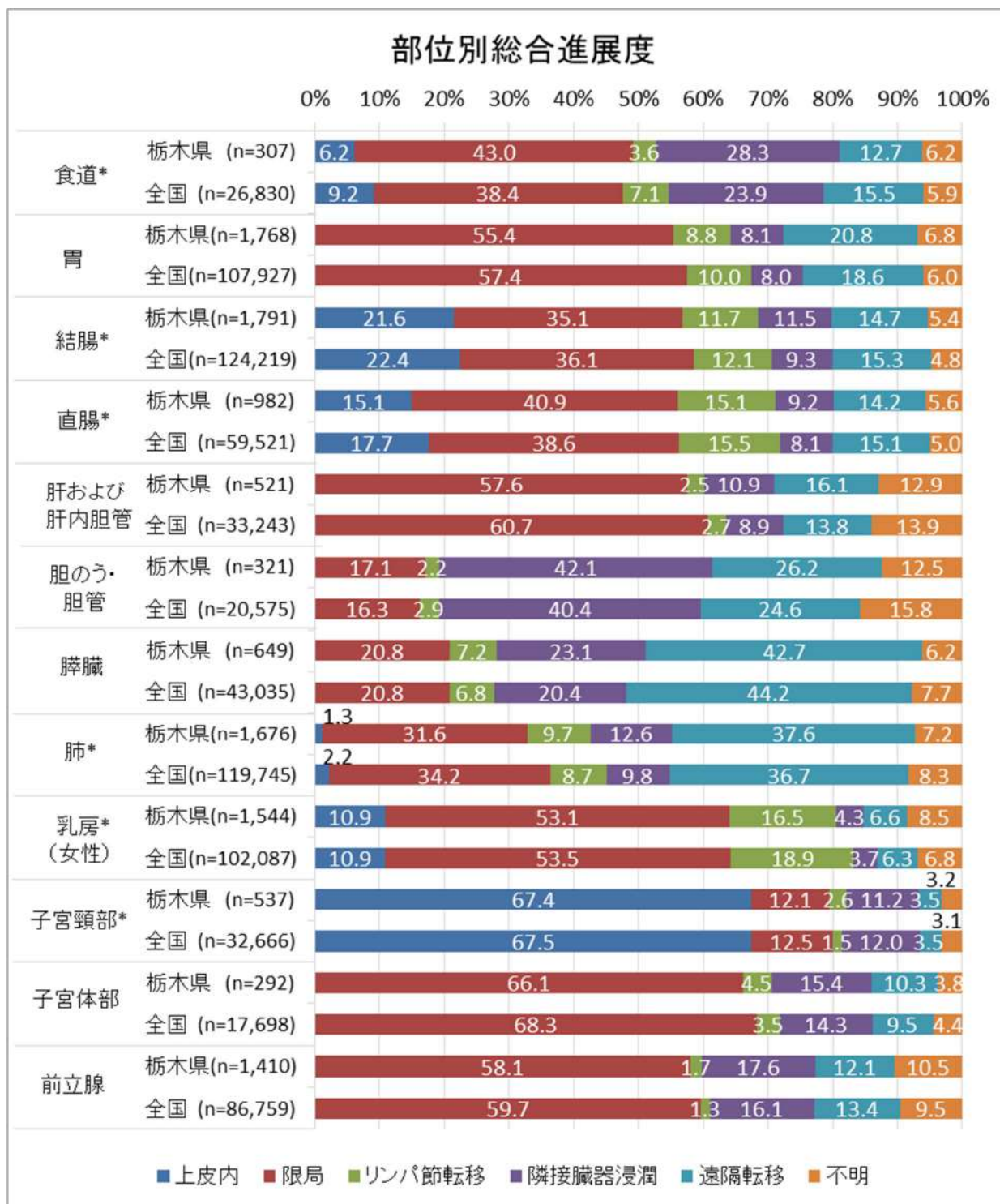
部位別発見経緯では、がん検診・健康診断・人間ドックによる検診等発見割合が、胃(16.8%)、大腸(20.9%)、肺(15.2%)、乳房(30.3%)、子宮頸部(27.7%)、前立腺(33.3%)であった。



* 上皮内がんを含む。

(4) 総合進展度

胃、大腸のように上皮内・限局が50～60%を占めるもの、乳房、子宮頸部、子宮体部のように60%を超えるもの、反対に胆のう・胆管、膵臓、肺のように40%に満たないものがあった。

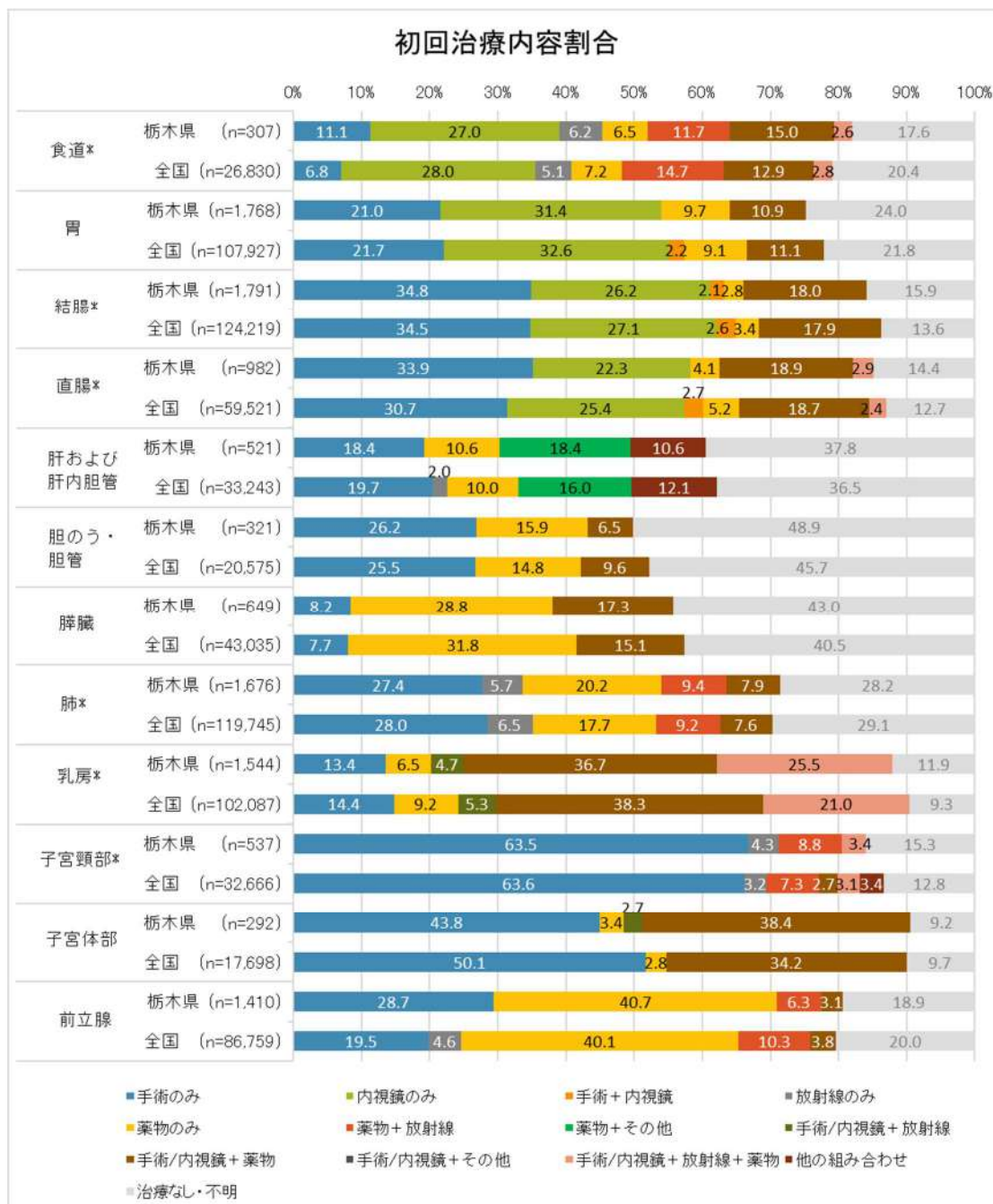


* 上皮内がんを含む。胃の限局にはmがんを含む。結腸・直腸の上皮内はmがんまでを指す。子宮頸部の上皮内はCINⅢを含む。

(5) 初回治療

がん登録における初回治療は、当該がんの縮小・切除を意図したがん組織に対する治療（「腫瘍に対する治療」という）のうち、当該がんに関する最初の診断に引き続き行われた、腫瘍に対する治療とする。

主な部位別に治療の内容を分類し、割合を示す。部位によって、特徴があり、全国と栃木県は同じような傾向を示す。しかし、初回治療の内容は診断時の進展度、年齢や併存症などに影響されることを考慮しなければならない。



* 上皮内がんを含む。 付表3 参照

2. 死亡の概要

2020年1年間で5,790人(男性3,418人、女性2,372人)が、がんを原因として死亡した。部位別では男性で肺が最も多く、胃、大腸、膵臓、肝臓と続く。女性では大腸が最も多く、肺、膵臓、胃、乳房の順であった。全国の死亡順位は男性では栃木県と同じ順で、女性では、大腸、肺、膵臓、乳房、胃の順であった。

年齢では、75歳以上が男性で58.5%、女性で66.0%を占めた。全国値では、男性61.7%、女性67.2%と栃木県の方が高齢者の割合が低かった。以下、全国と栃木県の年齢調整死亡率の比較を示す。

部位別年齢調整死亡率

